

生物学的製剤（オレンシア、エンブレル、アクテムラ）を使用されている  
患者様へ研究実施のお知らせ

<研究目的>

関節リウマチ患者様に使用される、生物学的製剤は免疫抑制効果もあり、我が国の市販後全例調査でも重篤な感染症が半年以内に 1.0～3.6%の割合で報告されています。感染症を予防し、重症化させない患者指導が重要です。

過去において感染症を発症し、入院された患者様の背景を分析する事により、特徴を明らかにし、そのような患者様に焦点を当て、より効果的な感染予防指導に役立てたいと考え研究を行います。

<研究方法>

1. 生物学的製剤使用患者様のカルテの記載内容より、入院に至る重症感染症発生の事例、患者様の情報を収集、分類、分析。
2. 分析結果より、患者様の特徴・共通点などはあるかを検討する。
3. 医療者の感染予防指導歴を調査する。

<安全性・不利益及び危険性に対する配慮>

個人のプライバシーは伏せて発表致します。研究内容を公表する事に負担を感じたり、調査研究の趣旨にご賛同いただけない方はお伝えください。ご賛同いただけない事でなんら不利益を被る事はありません。

<プライバシーの保護>

研究で得られたデータは本研究以外には使用する事はありません。結果の公表にあたっては、個人情報保護のため匿名性を確保し、個人が特定される事はありません。また、プライバシーは厳重に保護致しますので、研究発表の際にも外部にもれる事はありません。

\* ご意見、ご質問がございましたら、リウマチ科看護師、小林におたずね下さい。

横浜総合病院 リウマチ科外来

看護師：小林恵、臼田奈美